（昭和32年8月8日 第3種郵便物認可）第115号　あさひ　昭和40年3月10日 月刊（毎月10日発行）

あさひ

＜からつや地蔵＞　元屋敷地内

からつや地蔵

笹川の渓流に沿って、元屋敷部落の上手へのぼると、通称九ッ谷という谷があり、そこにからつ田という地名がのこっている。

以前から越中陶磁史の研究家の間に、宮崎焼のあったことは認められている。射水郡小杉焼の伝えによると、宮崎村の人某が小杉焼の初期に陶法を学び、帰村して陶業に従事したと……

宮崎焼の歴史は定かではない。しかし、元屋敷九ッ谷林道開さくの折―十数年前―からつ田とよばれる水田から、登窯一基と各種作品の破片が発掘されて、宮崎焼のあったことが証明された。

いつの時代、だれが建てたか、からつや地蔵はひとり淋しく、そして往時の物語りを深く胸にひめながら幾百星霜、風雪にさらされて、窯業志とはちがったであろうか。窯師の霊は静かにねむってござる。

九里道守記

議会だより

全員協議会　二、二六

付議事項

1. 工場誘致に関する損害補償の交渉経過とその対策について
2. 泊病院の増改築について

結　果

1. 損害補償については、なるべく早期妥決をはかること、交渉については、当局及び工場誘致特別委員会はこれに当たる。
2. 病床数二〇〇床で鉄筋コンクリート建てとすることを了承、まず起債の獲得に努め、早期実現を期す。細部については順次議会にはかって定める。

職親はいませんか

精神薄弱者（児）と云われながら社会的自立ができないと見捨られがちな「ちえの遅れた人」たちでも、それぞれの能力や体力等にあった職業（一般に単純な反覆作業）と雇主の愛情ある正しい、根気強い指導があれば、社会人として自立、あるいはそれに近い状態で立派に働くことができるようになります。

これら「ちえの遅れた人」をあずかって技能習得訓練及び生活指導をしたり、また将来は雇うという民間の事業主を精神薄弱者職親といいます。現在まで登録された職親は県内に十一人います。朝日町においてもこれらの人たちのために民間の事業主を求めております。立派な社会人に育てるために職親になろうと希望される方は役場民生課あるいは民生委員に申し出てください。（民生課）

きれいな選挙

夫とは別に

婦人が選挙権を与えられて間もないころは、よく婦人の政治意識は低いといわれた。投票で、夫は妻に誰れに入れろと命令するという例が多く、妻も誰に投票してよいのか判断がつかず、夫に相談して、そのとおりにすることが多かった。そんなふうだから妻たちは少し日がたつと、自分が投票した相手の名も、政党も、ケロッと忘れてしまった。

その後、何度かの選挙を経て、婦人たちも考えるようになり、夫とは別に、自分で判断して投票するようになったと言われている。

しかし問題はほんとうに、そうなったかどうか、ということである。選挙というものはまず、その候補者が何党に属しているか、どんな政見を持っているか、どんな人柄かなどをよく知る事が大切である。自分の今の生活にてらしてみて、ほんとうに望ましい人であるかどうかを、よく考えてみなくてはならない。そのためには政治知識が必要なのである。

よく婦人会などで、政治のことにふれるのをおそれて、政治の勉強はしないところがある。政治教育のないところには、政治知識は育たない。最近きれいな選挙ということがよくいわれるが、買収されないこと、棄権しないこと、自分で選ぶこと、などといった方式を守るだけのかけ声ではだめである。本当にきれいな選挙を行なうためには、一人ひとりが、どんな政治を望むかという心がまえを、しっかりと身につけることが第一である。

夫と妻とは、全然別な人を選ばなければならないということではない。なにもわからないで、夫のいうままになるのではなく、自分で選ぶ人を自分の力できめることが大切なのである。自分の力できめることを、実行する勇気をもつことである。

ちかごろになっても、投票の権利を自分からすててしまって平気でいる人が随分多い。

（総務課）

朝日町職員採用試験公告

昭和40年3月5日

朝日町長　**本村本松**

この試験は役場（病院等出先機関を含む。）において事務的、技術的業務に従事する職への採用候補者を定めるために行なうものです。

1.　試験区分と採用予定人員

⑴ 一般事務職　若干名　⑵ 技術職（土木、農業土木、建築）若干名

2.　受験資格

学歴	年令	男女の別	その他の要件及び附記
学校教育法による高等学校の卒業者及び昭和40年3月31日までの卒業見込者	昭和16年4月2日から昭和22年4月1日までに生まれた者	男子及び女子	⑴朝日町に居住する者 ⑵必要学歴はこれと同等と認められる学歴資格を含みます。 ⑶技術職については学校において必要な課程を履修したことを要します。
学校教育法による短期大学の卒業者及び昭和40年3月31日までの卒業見込者	昭和14年4月2日から昭和20年4月1日までに生まれた者	男子	
学校教育法による大学（4年）の卒業者及び昭和40年3月31日までの卒業見込者	昭和12年4月2日から昭和18年4月1日までに生まれた者		

3.　試験の日時、場所、方法及び発表

⑴ **試験の日時及び場所**　昭和40年4月6日（火）　朝日町役場　議会議場

⑵ **方法**　イ．教養試験　ロ．作文試験（一般事務職のみ）　ハ．専門試験（技術職のみ）　ニ．口述試験

⑶ **発表**　昭和40年4月中旬

4.　合格から採用までの経路

合格者はその試験区分の採用候補者名簿に記載され、この中から成績順に採用者が決定されます。名簿は昭和40年4月1日から昭和41年3月31日まで有効です。採用は名簿の有効期間中において必要に応じて決定されるので合格者全員が採用されるとは限りません。

5.　受付申込手続

⑴ **受付期間**　昭和40年3月13日（土）から3月19日（金）まで受付けます。
（平日午後5時、土曜日は午後0時30分まで、日曜日は休み）

⑵ **申込用紙の請求**　朝日町役場総務課において交付します。

6.　その他

この試験の詳細については、当朝日町役場総務課に問い合わせください。

緑化に協力しよう

苗木即売会案内

荒れ果てた戦後の国土を緑化せんとする運動が展開されて早くも十六年目を迎え、今年も例年のとおり四月一日より全国民挙げての緑化運動が展開され、緑化の推進にいろいろと計画が組まれております。昨年は緑化運動十五周年記念に併せ、オリンピック東京大会と意義ある年でもあり、棚山台地において富山県植樹祭が挙行されました。緑化の推進はわれわれ郷土の治安のため、治水、治山にまた環境衛生上欠くことのできない事業でもあり、年々わが朝日町も皆さんの協力のもと緑化されつつあることは、まことに喜ばしいことであります。

この緑化週間に呼応し、次により苗木即売会を開催しますので、せいぜいご利用くだされ、山に街に家庭にと、環境の緑化に、一人一本必ず植栽しましょう。

記

一、日時　四月三、四日
午前九時より（雨天決行）

二、場所　朝日町役場前

三、共催　下新川地区林業改良普及協会、朝日町緑化推進委員会

四、後援　下新川県事務所
朝日町役場

五、即売会樹苗及単価

(イ)庭樹園

吉野桜	五〇円
牡丹桜	六〇
ヒマラヤシーダ	二五〇～一、二〇〇
貝塚伊吹	二〇〇～六五〇
黒松	二〇〇
ラカン樹	八〇～一、二〇〇
南天	三〇～二五〇
金柑木	七〇
銀柑木	五〇
ひば類	四〇～一〇〇
楓類	一〇〇～一、〇〇〇
つげ類	三五〇～五五〇

◎花木類

山茶花	八〇～四〇〇
泰山木	八〇～三五〇
沈丁花	九〇
つつじ類	七〇～二〇〇
椿類	八〇～五〇〇

外に十三種類

◎果樹類
柿　桃　梨　梅　栗　桜桃　ザクロ　みかん　りんご　すもも　いちじく等
三〇～一二〇

◎盆栽類
五葉松　槙柏　ぼけ　黒松　サボテン　バラ　ドラセナ　ゴム　等　五〇～七〇〇

即売樹種は九十八種類あり、なお即売本数に制限がありますので申し添えます。

（産業課）

朝日町学校教育研究発表会

朝日町の小中学校の先生で結成されている、朝日町学校教育研究会では、本年度研究の総まとめとして二月二十二日泊中学校において研究発表会が行なわれたが、当日は小学校側から二名、中学校側からは一名の左記標題のような研究発表があり、最後に町出身県議会議員鹿熊安正氏のソ連及び欧米視察の講演を聞き四時三十分閉会した。

当日の研究発表者と標題

○算数部会　扇谷光夫
文章題の解決にどうすれば児童のひとりひとりが真剣にとりくむだろうか

○道徳部会　更田明也
道徳の時間の指導の中で資料をどのように生かしていくか

○技術家庭科部会　折戸惣吉
技術家庭科指導の困難点

交通安全

気をつけてね!! だけではダメ

楽しい一年生まであと一月足らず

これまでママに甘えていたよい子が、入学と同時に急に一人前になったように錯覚します。そこで心配になるのは登校、下校途中の交通事故です。交通安全のしつけは、いまのうちにシッカリとしておいてください。家から学校までの道順はママが下調べをしてコースをきめてください。廻り道になっても交通量の少ない道を選んでください。

ハラハラ登校よりも集団登校をおすすめします。近所の上級生と必ず一しょに登校させることや学校の交通安全自治会、PTAの力をかりることも安全な方法です。

なによりも大切なことはよい子自身に交通のきまりや、不注意のおそろしさを教えこむことです。一度ママがお子さんと一しょに交通安全のあり方を実地でやってみてはいかがでしょう。交差点の通り方、道路横断のしかた、右側通行のしかたや、自動車や自転車に対する注意のしかたを、からだでじかに習得するように教えましょう。幼いときに身につけた習慣は、大きくなってもよい実を結びます。

「けさは元気に出ていったのに……」と嘆くまえに。

（総務課）

春の火災予防週間

四月一日～七日

期間中は午前七時、午後九時の二回サイレンが吹鳴されます。

（消防署）

「コイ」をかいましょう

朝日町養鯉組合では、二月十九日本場の新潟県より講師を招いて、養鯉の研究会を開いたが、わが町はめぐまれた養鯉に最適の気候風土で、趣味と実益とボーフラ退治の衛生上からも小川、池、水田等を利用した養鯉を普及することを申し合わせた。

まず、養鯉の基礎知識を得るために昨年刊行された「錦鯉の観賞と飼い方」定価（三八〇円）を希望者にあっせんしますから、ハガキで三月末日までに産業課にお申し込みください。

皆さんの研究と努力いかんによっては、朝日町も鯉の名産地になることを確信し期待したいものです。

（産業課）

新入学児童の一日入学

昭和四十年度入学の新一年生については、親も子も入学の日を心待ちにし、胸をふくらませているが、これに先立ち町内の各学校ではこれら新入学児童に対する身体検査や知能テストを実施している。

これらの内容は、十までの数の数え方、自分のなまえが読んだり書いたりできるか、簡単な話の受け答えができるか、事物の判断力など極めて平易なかつ常識的なものである。

（写真は宮崎小学校における新入学児童工作風景）

この頃の城山は白雪の雄姿、僧ヶ岳、劔岳、紺碧の海が実に美しい。蕭々の松風は昔を偲ばせ、滝廉太郎ならずとも「荒城の月」が聞こえてきます。

産業課では、今年からここに梅を植えてみます。

その昔から「小出の梅」は有名だが、境から棚山まで梅の育たぬことはない。

東京では梅一粒が十円前後とか。「花を賞で実を喜ぶ」、十年後には朝日町は梅の花に埋まり、朝日町梅果（梅一）共同出荷場が落成したとなると愉快です。

昔は男の子が生まれると、その家で梅の木一本ずつ植えたそうです。その心意気が慈愛で花を咲かせ実を結ばせます。

「城山の春は梅見から」にご協力ください。

（産業課）

朝日町 小・中学校卒業式

三月十八日 小川中学校

十九日 南中学校

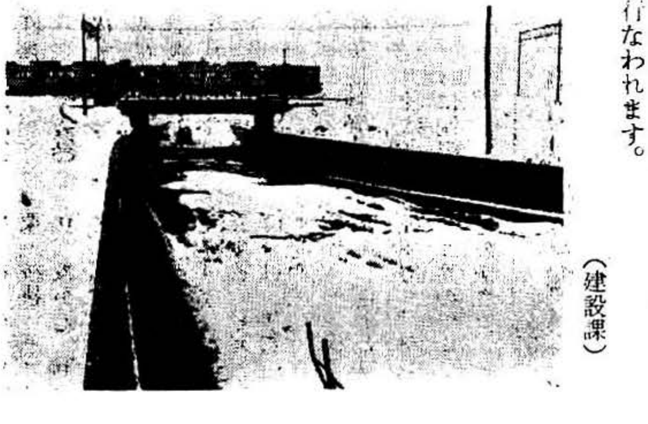
二十二日 南、宮崎、南保、大家庄小学校

二十三日 境、笹川、五箇庄、山崎小学校

望待の立体交差 工事完成

昨年九月より工事に着手していた都市計画街路草野～大家庄線のうち地域内唯一の北陸線との立体交差工事は工費一七、五〇〇千円で、一月末をもって完成し、近く舗装工事が行なわれます。

（建設課）



＜完成した立体交差道路＞

農事教室

今年の朝日町
農業課題

朝日町の農業は一戸当りの耕作面積が県平均より少い現況からして、兼業農家が一番多く、毎年壮年はもちろん、若い婦人層まで出稼ぎの収入増加で生活の向上を図らなければならない現況である。

このため、朝日町の水稲作においては本年こそ省力稲作を推進すべき年であろう。昔ながらの稲作では困る。農業収入の増加と兼業収入の増加を計画し、生活の向上を期待しなければならないわけである。これが朝日町農業課題で、今年こそ解決に工夫すべき年である。

本年の問題点として健全栽培が大きくクローズアップしてきたのである。稲作の増収は地力の増進であり、本年重点として考えていただきたいのである。稲作増収の原理は地力いかんで左右されるのであるに、ここ一、二年地力増進が忘れられているのではないでしょうか。省力稲作ということで堆肥作りが忘れられ、施されないので、病虫害被害が毎年増大している遠因がここにある。県下あげて地力増進運動が展開されている原因である。一方遊体物資は大いに活用すべきで、本県に遊んでいる徃酸石灰の活用で地力増進を図らんとしたわけである。硅酸石灰は重いから嫌われるのであるが、雪どけ直後、農家の忙しくないときに反当り五俵以上施しておけばよいのである。それを耕耘直前に施さねば効果が大変省るものに考えるから施されないのである。農業収入の少いのは、年間を通じて働なけいところに原因があるのであり、この問題解決策としても考えなおしていただきたい。

健全稲作は健苗の育成からである。苗作りが大変苦労が多い上に健苗が思うように育成されないのである。昨年減収した人たちの中に苗が悪かつた人が案外外いのであり、苦労されたのに苗が悪かった人も多い。

畑苗が良いのでビニール育苗でと本年も計画されていることでしょうが、できれば共同苗代へと話を進めて欲しい。昨年土地基盤地区は全部共同苗代で苗を作り、収量も大変多かったのである。

田植の時期と播種期は関係があるのに、人が田植したからと田植えして、栄養不足の苗が昨年植え付けられた。幸いに五月上旬の天候が良かったから問題が少なかったように考えられたが、本年の天候は不順の様相を示しており心配である。苗代用地は早く耕耘して、風化を促進させていただきたいものである。

農業能率の向上について、経営者であるから、今少し工夫すべきである。

兼業農業となればなおその感が深い、ここにあえて能率について二、三申しあげ、農業経営を考えて欲しい。

能率とは目的と手段がつり合っている常態であると、むずかしく書き初めてあるが、農業には次の点を考えていただければ幸いである。

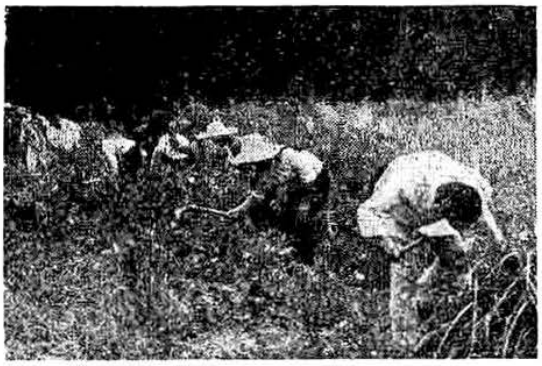
(1) 移転の原理　機械化である
(2) 補足　メガネ等を活用する
(3) 分担　特技とする人にやらせる
(4) 直結　時間と空間の直結である
(5) 単一　複雑化しない
(6) 発奮　ハッスルすることである

農業経営の目標

はやく　らくに　やすく　ただしく

以上に合った共同苗代から農業を押し進めてください。集団栽培協業経営と進歩したいものである。

（朝日農業改良普及所）



町を美しくしましょう

朝日町連合青年団では、昭和三十九年度活動方針に、「美しい町づくりに努力する」ことをあげ、微力ながらその運動を進めてきました。

連青だより

四月五日には、ボーイスカウト連合婦人会と協力し、二八〇人を動員して、朝日町の代表的な観光地である城山の美化奉仕を行なって美化運動の皮切りとし、八月十月には各校下青年団ごとに道路清掃、整備や河川清掃を行なったりして、まがりなりにも一年間、実践活動を通じあるいは町広報紙上を借りて→環境美化をよびかけてきました。

ところが、このような運動もどれだけ成果があったでしょうか。ゴミと清掃のいたちごっこと云った方が当たるようです。

設備の不備の問題もありましょうが、町民一人ひとりがもっと環境美化を心がければ、きっとよい解決の道も生まれたことと思います。青年団では、昭和四十年度もこの運動をとりあげ、一部の人たちのかけ声でなく、町民全体の運動としての方向へ努力したいと思います。町づくりの根本は衛生町の実現にあります。〃一人がひとりの周りをきれいにする〃、やる気になればこれほど簡単なことはありません。（朝日町連合青年団）

ゴミを捨てないでよ！
青年団

お知らせ

家事相談所開設

こんど、三月から毎月第一月曜日の午後と、その翌日（火曜日）の午前九時より午後三時までの両日、朝日簡易裁判所において無料家事相談所が開設されることになりました。

この相談所は富山家庭裁判所の特別なご配慮により、県下で朝日地区一ヵ所だけ特設されるもので、専門の係官が出張され、夫婦、親子間のいざこざや兄弟親族間の紛争、その他相続問題など家事問題一切について相談に応じてくださいます。

町民の皆さん方で、家事問題になやんでおられる方、また今後なやみが起きた場合はご遠慮なくこの相談所をご利用ください。（総務課）

作業停電

作業停電予定日
朝日町は毎週月曜日
実施期日
昭和四十年四月一日より

三月二十五日は電気記念品です

明治十一年三月二十五日、日本にはじめて電灯がつけられた日です。単なる照明から産業発展の動力として、人類の生活文化を支えそれを推進する電気電気の恩恵に感謝し、先覚者の偉業をしのびましょう。

編集兼発行　朝日町役場
印刷所　高田印刷
送料　六円
定価　六円